



## 2021年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月13日

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所  
 コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 康彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事総務部長 (氏名) 瀧川 順

TEL 03-3456-0561

四半期報告書提出予定日 2020年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	2,442	22.2	96		116		84	
2020年2月期第1四半期	3,141	19.5	175	8.2	154	13.4	106	12.7

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 88百万円 ( %) 2020年2月期第1四半期 97百万円 ( 8.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	40.14	
2020年2月期第1四半期	50.67	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第1四半期	16,453	3,784	23.0	1,805.89
2020年2月期	15,524	3,925	25.3	1,873.06

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 3,784百万円 2020年2月期 3,925百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		25.00	25.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,248	14.0	449		431		322		153.69
通期	12,135	0.6	60		79		64		30.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	2,099,376 株	2020年2月期	2,099,376 株
期末自己株式数	2021年2月期1Q	3,520 株	2020年2月期	3,520 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	2,095,856 株	2020年2月期1Q	2,095,856 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年5月31日）における当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な拡大に伴い、グローバルな経済活動に大きな影響を受ける結果となりました。

化粧品業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けております。2月以降、商業施設の営業時間短縮・臨時休業、それに伴う消費者の外出自粛などで消費への影響が始め、消費者の多くが不要不急の外出を自粛したこと等を背景に個人消費が大きく落ち込んでおり、消費の低迷は長期間に及ぶと想定しております。さらに、海外からのわが国への入国制限が強化され訪日外国人旅行者数が激減した結果、インバウンド需要においても急速な減速が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループでは、2017年度からスタートした「中期事業戦略ビジョン(2017-2021)」のもと、「生産能力の増強」ならびにグループシナジーの創出を通じた「グローバル化の加速化」の実現に取り組んでおりますが、2019年9月には「生産能力の増強」の主要施策である「つくば工場第3期拡張工事」が竣工し、全面稼働を行っております。今後、ニューノーマルの時代に即した処方・生産技術の開発ならびに品質や安全性の向上に向け、更なる努力を重ねてまいります。

また、当社グループにおきましては、お取引先の皆様ならびに従業員の健康に最大限配慮し、手指消毒や時差出勤、会議や出張の中止等の感染症拡大防止対策に万全を期しつつ、今後も事業・生産活動を行ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は、①緊急事態宣言や外出自粛、観光客激減によるインバウンド需要の減少等による国内需要減ならびに世界的な新型コロナウイルス感染症拡大によるアウトバウンド需要減を背景とした国内化粧品メーカーからの受注の減少、②世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による海外大手化粧品メーカーからの受注の減少の影響が大きく、フランスの連結子会社は増収となったものの、前年同期比22.2%減の2,442百万円となりました。

利益面では、売上高の急減に加えて「つくば工場第3期拡張工事」竣工に伴う諸費用の増加等もあって、営業損失96百万円、経常損失116百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失84百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における所在地別セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

(日本)

上記のとおり新型コロナウイルス感染症の拡大によって国内外の化粧品需要が急速に減退した結果、国内・海外化粧品メーカー各社からの当社へのアウトソーシング受注が減少したことから、売上高は前年同期比29.8%減の1,739百万円となりました。利益面では、売上高の急減に加えて「つくば工場第3期拡張工事」竣工に伴う諸費用の増加等もあって、営業損失172百万円となりました。

(仏国)

子会社THEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S.（以下「テプニエ社」という）の所在する欧州は、当第1四半期連結累計期間（1～3月）において、新型コロナウイルス感染拡大の影響で景気が減速するなかで、テプニエ社も3月23日より化粧品製造ラインの一時操業休止を余儀なくされましたが（4月16日に操業再開）、それまでの好調な受注と生産を反映し、売上高は前年同期比5.3%増の715百万円、営業利益も前年同期比77.1%増の73百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、928百万円増加し、16,453百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が3百万円減少し、固定資産が932百万円増加したことによるものであります。流動資産の主な減少要因は、現金及び預金が337百万円、電子記録債権が210百万円、たな卸資産が96百万円増加し、受取手形及び売掛金が491百万円、その他が157百万円減少したことによるものであります。固定資産の主な増加要因は、機械装置及び運搬具が21百万円、土地が586百万円、建設仮勘定が291百万円、投資有価証券が31百万円増加したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、1,069百万円増加し、12,668百万円となりました。負債合計の増加は、流動負債が55百万円、固定負債が1,013百万円増加したことによるものであります。流動負債の主な増加要因は、短期借入金が288百万円、賞与引当金が78百万円増加し、支払手形及び買掛金が144百万円、電子記録債務が181百万円減少したことによるものであります。固定負債の主な増加要因は、長期借入金が1,034百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、140百万円減少し、3,784百万円となりました。主な減少要因は、株主資本が親会社株主に帰属する四半期純損失84百万円等により136百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、現時点では新型コロナウイルス感染拡大による影響が不透明なため、2020年4月14日に公表いたしました業績予想のままとさせていただきます。今後の新型コロナウイルス感染症の影響によって修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	835,346	1,172,868
受取手形及び売掛金	2,226,476	1,735,071
電子記録債権	184,547	395,384
たな卸資産	2,099,546	2,195,835
その他	385,190	228,067
流動資産合計	5,731,107	5,727,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,110,690	5,049,764
機械装置及び運搬具(純額)	1,458,167	1,479,449
土地	1,301,018	1,887,440
建設仮勘定	345,820	637,343
その他(純額)	320,663	312,637
有形固定資産合計	8,536,360	9,366,635
無形固定資産	369,111	362,175
投資その他の資産		
投資有価証券	442,277	474,103
その他	526,596	555,128
貸倒引当金	△81,065	△31,956
投資その他の資産合計	887,809	997,275
固定資産合計	9,793,280	10,726,085
資産合計	15,524,388	16,453,315
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	695,734	551,620
電子記録債務	897,714	716,493
短期借入金	1,451,650	1,740,614
未払法人税等	—	15,433
賞与引当金	78,608	156,825
その他	1,239,904	1,238,326
流動負債合計	4,363,612	4,419,314
固定負債		
長期借入金	6,450,007	7,484,201
役員退職慰労引当金	146,430	146,430
退職給付に係る負債	64,242	66,971
その他	574,439	551,505
固定負債合計	7,235,119	8,249,109
負債合計	11,598,732	12,668,423
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	714,104	714,104
資本剰余金	943,209	943,209
利益剰余金	2,121,719	1,985,189
自己株式	△3,857	△3,857
株主資本合計	3,775,176	3,638,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,604	244,275
為替換算調整勘定	△72,125	△98,030
その他の包括利益累計額合計	150,479	146,244
純資産合計	3,925,655	3,784,891
負債純資産合計	15,524,388	16,453,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	3,141,383	2,442,875
売上原価	2,609,967	2,207,607
売上総利益	531,416	235,267
販売費及び一般管理費	356,133	332,189
営業利益又は営業損失(△)	175,282	△96,921
営業外収益		
受取利息	224	275
受取配当金	1,818	2,035
雑収入	3,627	5,649
営業外収益合計	5,669	7,959
営業外費用		
支払利息	15,291	22,575
為替差損	10,979	4,853
その他	392	42
営業外費用合計	26,663	27,471
経常利益又は経常損失(△)	154,289	△116,433
特別損失		
固定資産除却損	893	0
特別損失合計	893	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	153,396	△116,433
法人税、住民税及び事業税	17,453	22,662
法人税等調整額	29,744	△54,962
法人税等合計	47,197	△32,300
四半期純利益又は四半期純損失(△)	106,198	△84,133
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	106,198	△84,133

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	106,198	△84,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,055	21,670
為替換算調整勘定	△13,991	△25,904
その他の包括利益合計	△8,935	△4,234
四半期包括利益	97,262	△88,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,262	△88,367
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,462,056	679,327	3,141,383	—	3,141,383
セグメント間の内部売上高又は 振替高	16,518	—	16,518	△16,518	—
計	2,478,575	679,327	3,157,902	△16,518	3,141,383
セグメント利益	129,045	41,256	170,302	4,980	175,282

(注) 1. セグメント利益の調整額4,980千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,727,418	715,456	2,442,875	—	2,442,875
セグメント間の内部売上高又は 振替高	11,774	—	11,774	△11,774	—
計	1,739,193	715,456	2,454,649	△11,774	2,442,875
セグメント利益又は損失(△)	△172,078	73,060	△99,017	2,096	△96,921

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額2,096千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。